



令和2年10月号
うみのこセンター
TEL(054)335-1148
FAX(054)335-1292

年長児母親教室について
23日(金) 10:00～ 3階ペンギンルーム
 年長児母親教室全体でのお話はこれで最後になります。
 年長になって行ってきた母親教室でのお話等を振り返り、
 まとめをしていきたいと思ひます。ぜひご参加下さい。

1(木)	2(金)
パンダ1 10:00 (外遊び)	何でも相談
C 13:30 (生活)	D1 13:30 (生活)

5(月)	6(火)	7(水)交流保育	8(木)	9(金)
りす1 9:45 (生活)	しか 9:45 (生活)	ラッコ1 10:40 (外遊び)	パンダ2 10:00 (外遊び)	何でも相談
特別指導	A1 14:00 (生活)	B1 14:00 (生活)	療育相談 何でも相談	何でも相談
12(月)	13(火)	14(水)交流保育	15(木)	16(金)
りす2 9:45 (生活)	ペアレントトレーニング 10:00	ラッコ2 10:40 (外遊び)	パンダ1 10:00 (親子遊び)	何でも相談
何でも相談	F1 14:00	G1 14:00	療育相談	D2 13:30 (生活)
19(月)	20(火)	21(水)交流保育	22(木)	23(金)
うさぎ1 9:45 (生活)	きりん1 9:45 (生活)	ラッコ1 10:40 (親子遊び)	ラッコ・パンダ 10:40 (歯科保健講演会)	年長児母親教室 10:00
E1 14:00	A2 14:00 (生活)	B2 14:00 (生活)	何でも相談	何でも相談
26(月)	27(火)	28(水)交流保育	29(木)	30(金)
うさぎ2 9:45 (生活)	きりん2 9:45 (生活)	ラッコ2 10:40 (親子遊び)	パンダ2 10:00 (親子遊び) 自閉症協会 おしゃべり会	年中児母親教室 10:00
E2 14:00	F2 14:00	G2 14:00	療育相談	何でも相談

【年中児母親教室について】 30日(金) 10:00～ 3階ペンギンルーム

今まで年中児対象の母親教室はありませんでしたが、新たな試みとして行いたいと思ひます。
 今の時期だからこそ聞きたいこと、言いたいことがあるのではないのでしょうか。いくつかのテーマ
 ごとに色々なお母さん方と意見交換をして、交流してみませんか。例えば、関わりが増えてきた
 お友達との関係、勝ち負けにこだわること、そろそろ気になり始めた就学のこと、などなど、話は
 尽きないと思ひます。たくさんのご参加お待ちしております。



<10月のグループ活動について>

外遊び(ラッコ・パンダ)

事業団から忠霊塔公園までお散歩したいと思います。お母さんと一緒に手をつないで歩けるかな。当日は、水筒、帽子、はきなれた靴のご用意をお願いします。

生活：散歩(年少)

事業団周辺をお散歩します。事業団の周りには何があるのでしょうか。観察しながら歩いてみると、色々なものを見つけました。みんなで探しに出かけましょう。

生活：お買い物(年中)

うみのこセンターのお店に行って、お買い物をします。お店の人に「ください」「ありがとう」と言えるかな。お金のやり取りもしてみましよう。



歯科保健講演会のお知らせ

10月22日(木) 10:40～ 2階会議室

ラッコ・パンダグループの活動として、静岡市歯と口の健康支援センターの服部清先生をお迎えし、家庭での虫歯予防の仕方や歯科医へのかかり方などをお話していただきます。歯磨きや通院でお困りの方も多いと思います。参考になるお話が聞けるとおもいますので、ぜひご参加ください。

年少以上の方も参加できますので、ご希望の方はお申し込みください。



年長児母親教室を行いました ～先輩お母さんのお話より～

8月7日(金)に先輩のお母さんをお招きして、就学に関する体験談をお話していただきました。就学先を決めるまでの思いや就学後の様子など、お母さん方の生の声を聞くことができとても参考になりました。

- ・Aさん(特別支援学校:2年男子)…自閉症スペクトラムと診断され言葉も出なかったのうみのこには2歳半から通所した。こども園では加配の先生が付いて過ごした。集団行動が苦手だったルールが分からないので心配だったが、毎日楽しく登校している。5人のクラスで2人の先生がおり手厚く見てもらっている。自由参観で様子を見ることもできる。国語、算数は一人一人に合わせた課題を考えてくれるため無理がない所が良い。子どもだけでなく母親も支えてもらい親子共々安心して過ごしている。
- ・Bさん(普通級:2年女子)…3歳児健診で言葉の遅れを指摘されたが家での困り感はなかった。1年遅れのグレーゾーンと言われ病名もつかなかった。就学先についてはものすごく悩み、発達検査を受けて相談した。母親は苦労させたくないという思いで支援級を希望、父親は普通級希望と意見が一致せずギリギリまで悩んで普通級に決めた。通級指導教室も利用。1年の時は楽しく通学でき、困らなかった。2年になりコロナの影響で休校、生活のリズムが崩れ行き渋りが始まって授業にもついていけなくなった。学校へ行くと相談する場がないので、自分からアピールし、担任と密に相談していった方が良い。
- ・Cさん(特別支援学級:知的3年男子)…1歳半健診で発達検査をし、自閉症スペクトラムと診断を受けた。思い通りにならないと怒ったり物を投げたりする子だった。就学先については、母親はこども園の時から支援級と決めており、父親も賛成だった。支援級ではその子に合わせたペースでやってくれる。運動会の練習は普通級と一緒にしている。できているのに何回も練習するため怒るが、クールダウンしてから話すを受け入れるようになった。就学先を決めるにあたり焦ることもあるが、見学や体験を通して決めてほしい。子どもの成長はアップダウンがあるのでトータルで見えていく方が良い。

今回は特別支援学級の情緒級の先輩お母さんは残念ながら欠席となってしまいました。全体会終了後の個別面談では直接先輩お母さんのお話を聞くことができ、多くの方がお話をされて有意義な時間となりました。

*うみのこセンターのおたよりは、ホームページから閲覧することができます。予定の確認などにご活用ください。各行事のお知らせや、活動報告なども随時掲載しています。ぜひご覧ください。



<閲覧手順> ①静岡市しみず社会福祉事業団 トップページ <http://www.shimizu-294.jp>
イベント報告→うみのこセンター
②トップページ 「新着情報」